

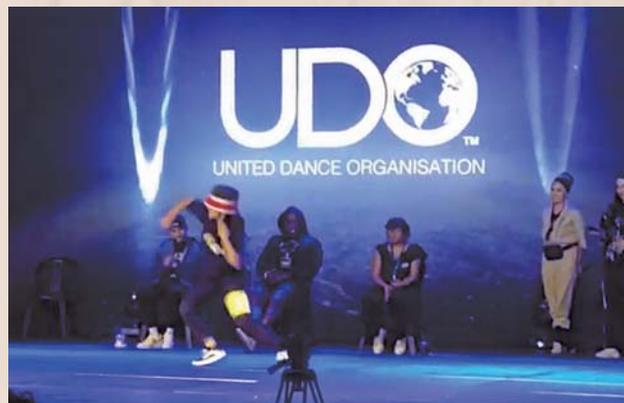


TOWN'S STAR

吉野町の人☆キラリ

アジア大会優勝(ダンス)

高校1年生 上垣果穂さん(橋屋)



UDO ASIA PACIFICのステージでダンスをする上垣さん



表敬訪問での北岡町長と上垣さん(右)

2017年のUDOストリートダンス世界大会日本予選で優勝し、世界大会ではソロ部門で4位入賞を果たした上垣果穂さんが、昨年4月に出場したUDO日本予選の大会事務局から過去の優秀な実績を認められ、アジア大会出場の推薦を受けました。昨年12月16日に役場町長室を訪れ、11月にフィリピンで行われたUDO ASIA PACIFICバトル部門(16歳以下)に日本代表として出場し、優勝したことを、北岡町長に報告しました。今回は、8カ国から出場した約50名の頂点に立ち、今年8月にイギリスで行われる世界大会への出場権を獲得しました。



ポスターを校内に掲示する吉野小学校の代表児童たち



HEARTWARMING

おもいやりの心育てよう

人権の大切さを再確認

町内の各学校や事業所にポスターなど贈呈

昨年12月4日から10日までの人権週間に合わせて、人権週間初日の12月4日、吉野町人権擁護委員の方々が、町内の各学校・事業所を訪れ、ポスターと鉛筆が児童・生徒の代表、企業担当者に届けられました。

この取り組みは、学校や家庭、職場などにおいて、人権について話し合う機会を持ってもらい、人権の大切さを再確認してもらうことを目的としています。一人一人が「おもいやり」や「やさしさ」を実感しあえる、差別や人権侵害のない吉野町にしていきたいものです。

人権擁護委員の委嘱について

人権擁護委員は、地域の皆様から人権相談を受け、問題解決のお手伝いに応じます。暮らしの中での悩みや心配事、困り事のある方はご相談ください。令和2年1月1日付けで、法務大臣から次の方が人権擁護委員に委嘱されました。――

佐々木 弘之 (上市) 新任

【敬称略】

「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録から15年

紀伊山地は古代神話の時代より神々が鎮まる特別な場所と考えられ、我が国固有の山岳宗教が発達してきました。中でも「吉野大峯」地域は、役行者を開祖とする修験道の聖地であり、標高2000m近い山々の激しい起伏を越えて歩み、祈る「大峯奥駈修行」の道場として知られています。吉野町中が歓喜に沸いた、平成16年の「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録から、15周年となった令和元年の節目に、記念行事が行われました。

吉野山

シンポジウム「世界遺産吉野大峯と文学の魅力」

吉野大峯地域が「紀伊山地の霊場と参詣道」の一角として世界遺産に登録されて15周年の節目を迎えることを記念して、吉野町・吉野山自治会・吉野山観光協会・総本山金峯山寺・(一社)吉野ビクターズビューロー・(公財)吉野山保寿会が「吉野大峯世界遺産登録15周年記念事業協議会」を設立し、「吉野大峯世界遺産登録15周年記念事業」を実施しました。

この事業の中心事業として、昨年11月30日、吉野山金



▲基調講演を行う奈良大学上野誠教授



◀地歌舞を舞う上方舞山村流山村若女氏



パネルディスカッションでの一コマ。左から奈良大学上野誠教授、金峯山寺五條良知師、歌人の喜多弘樹氏、女優の松坂慶子氏。

峯山寺聚法殿(吉野山ビクターセンター)で、「世界遺産吉野大峯と文学の魅力」と題してシンポジウムを開催しました。

この日は、奈良大学文学部上野誠教授の「吉野から令和に思いを寄せて」と題した基調講演や上方舞山村流山村若女氏による地歌舞が行われました。また上野教授のコーディネートによるパネルディスカッションでは、金峯山寺管領五條良知師、故前登志男氏に師事した歌人の喜多弘樹氏、女優の松坂慶子氏により、吉野にまつわる文学について、語り尽くせぬ魅力の話題に花が咲きました。

奈良まほろば館にて開催

連続講演「世界遺産『吉野大峯』と文学の魅力」&世界遺産吉野大峯展

昨年8月・9月には、首都圏からの吉野への誘客を目的として、東京の奈良まほろば館において、連続講演を行いました。



対談する五條師(写真左)と北岡町長

講義は芳山一佛堂住職田中岳良師、奈良大学上野誠教授、龍谷大学非常勤講師池田淳氏、最終回は金峯山寺管領五條良知師と北岡町長の対談として4回行われました。「吉

東京 日本橋

野大峯」を知り尽くす有識者のそれぞれの観点から、古代より息づく吉野の文学の歴史や魅力が紹介されました。講演には各回、約60名が来場し、同時期に開催されていた「世界遺産吉野大峯展」で展示された、吉野の美しい風景の写真や動画などを興味深く鑑賞していました。



◀展示物を鑑賞する来場者